

平成13年度 宝くじ助成事業成果概要

企画・広報部

河川は水と緑のオープンスペースとして、うるおいとやすらぎの場、レクリエーションと憩いの場などの役割を担っており、河川空間の種々の機能に対する期待と要請が一層増大している。

このため、良好な水辺空間の形成を図っていくことが益々重要となっており、水辺空間整備の積極的な展開を図るため、事業への理解、効果、必要性等の広報活動を通じて、河川愛護意識の普及を図っていくことが必要である。

(財)日本宝くじ協会からの助成事業による「水辺空間整備に関する広報活動」は、昭和62年度からスタートし、平成13年度は57,650千円(税込み)の助成金を受け水辺空間に関する広報と併せて宝くじ事業の公益性に関する一般の方々の理解を深める目的で事業を実施している。

1. 水辺施設の設置

水辺施設は良好な水辺空間形成の一環として、水辺空間の快適性や豊かな自然環境を向上させることを目的に、市町村を対象に公募し、水辺施設選定委員会に諮り選定された3ヶ所に設置した。その内訳は、アメニティ施設2ヶ所、水辺自然環境施設1ヶ所であり、その内容は以下に示すとおりである。

アメニティ施設 2ヶ所

信濃川水系魚野川(新潟県六日町): トイレ

阿武隈川水系阿武隈川(福島県福島市): トイレ

水辺自然環境施設 1ヶ所

多摩川水系浅川(東京都日野市): ピオトープ

2. パンフレット等の作成

パンフレット等は、以下に示す8点を作成し、国、地方自治体、民間団体等に配布した。

「川・人・街 川を活かしたまちづくり」

「河川における外来種対策に向けて」(案)

パンフレット「河川に外来種が侵入すると……」

「FRONT 9月号、特集: 現代「水害」考」(増刷分)

「水景有情: 浮世絵のなかの明治・大正」

をテーマとしたカレンダー

「千曲川の総合研究 - 鼠橋地区を中心として - 」

「別冊FRONT ~ 川のトータルデザイン ~ 」

「ふるさとの川整備事業の軌跡とこれからの川づくり」

平成14年度も昨年度に引き続き宝くじ助成金を受け、水辺施設の設置とパンフレット等の作成を実施し、水辺空間整備に関する広報活動事業を行う計画である。水辺施設は、昨年の12月から2月にかけて募集し、3月に選定委員会に諮り、その結果、秋田県西木村、東京都江東区、愛知県作手村、福岡県浮羽町及び宮崎県諸塚村の計5箇所が選定された。応募にご協力いただいた市町村に対し、感謝申し上げます。



写真 - 1 アメニティ施設
魚野川(新潟県六日町): トイレ



写真 - 2 アメニティ施設
阿武隈川(福島県福島市): トイレ



写真 - 3 水辺自然環境施設
浅川(東京都日野市): ピオトープ